

送 上  
運 月 九 日  
司 命  
長 官

至急

吾付 一六〇〇

軍令 謀長

東京

経駐 発電 第八六二号

一、一月一日以降上陸地ヨリノ帰郷旅費ヲ支給シ得ル

コトヲ定メラレ俸給三月ノ所拂ハ停止セラレタリ

(陸普二七四及陸普二七五)

二、上陸地ニ於ケル所要資金ハ外地ノ東京経理部派遣

員若クハ上陸地支局ヨリ交付ス(陸普五三二)

三、八月以降現地ニ於テ俸給等ヲ支給セズ且ツ支物給スルニ

持帰制限ノ爲拂行不能ト思ハルヲ以テ八月分以降

腹負一月分迄ノ俸給等(臨時等)及特別臨時等者ハ

除クハ内地の上陸後支給スルヲ至當ト思ハルモ如何

博多 新電路

第 四

至急

五月廿一日、〇〇

軍令ノ謀長

大印

一、星伍長ノ指揮ニ自衛軍ノ部隊ハ六日夕、呉橋渡ナク

大印ニ到着、七日ヨリ輸送ヲ実施中。

二、エドウゲントンネルガソリン(四〇〇〇本)ノトウソン飛行場

集積ハ約三五〇〇本終了ス

三、<sup>自衛</sup>附外 木材(約一〇〇〇〇本)ノ輸送ハ概ネ一五〇〇〇本輸送ス

四、オニオ三項作業ハ一日頃完了ノ豫定

五、ガイケイザンセメント(一五〇〇代本)ヲトウソン飛行場ニ集積

及、使用不能ノセメント整理作業ハ一日ヨリ実施ノ豫定

六、ガイファイキンガリース(四五〇トン)ハ二五〇〇〇鏡)ノトウソン

飛行場集積作業ハ九日ヨリ開始ノ豫定

七、其他実務的ニ要求セラルシ軍日兵方四一五〇名自衛

兵車四一五輛ヲ府内諸作業ニ使用セリ

ニヤ年迄唯長

普通

受信

十五分五十分

松本 六ノ謀

京城

本林電第一ロ号

本寺承曉博士ハ七日午後八時門カラ京城中央  
放送局ノマイクラ通ジテ約二五ノ間ニ至ラテ

朝鮮ノ三ノ萬ノ民衆ニ力強ク呼ビカテ人民

共和国ノ首席トシテ自介ノ名ヲ連ネテキルカ

自介ト何等ノ關係無キ下ラ闡明シ民族

統一戰線トシテ獨立中央協議会カ結成サ

シクカラトテソノ援助ヲ<sup>創設</sup>講シ併セテ目下  
上海帯下在中ギテ不日帰リ同己韓国臨時政府

西人運ノ歡迎ヲ望ミテ大要次ノ如ク放送  
警界ノ大志論議ヲ起シテ  
放送要旨ハ

余、彼等已ニ同胞請氏 余が帰國シテ  
三週ニテナラントシテ斗ル 其ノ間 在京 概ハ奮  
ノ人オカ多ク散余ヲ訪シテクシテ 余トシテ 感激  
ニ不堪トシテアルガ 余其ノ接待恒殺サレテ  
事務ニ支差ラ起スニトガ多ク引イテ、末訪  
諸君ニ先カカル機会云フ協ラハセズ 剩ヘ室内  
入レズニ常一ニシル方モ 多数 居ラレト云フ  
フトテ恐縮ニタハナイ。 出来シバ 余ハ責任ヲ  
持タヌ一市井人トシテ同胞ヲ軒並ニ謝シテ

~~~~~

善也や悲しむらふケタイト思ふ。然し今さらハ未だ自利ノ非常時ナラ

羊萬年ノ青史輝ク我ハ千リコウガシラ恢復シテ子々孫々萬

代ノ末迄自由福樂ヲ継有スルカ或ハ九洲セウノカツビニ格化

カノ岐路ニ立リ身ニテアワテ一刻モ無駄ニ過シテハナラヌ。余ガ厚固

シテ當初ハラゲド特ニ余ニ向テ勸告已未年ノ萬才事件

際ノ三三人中生存キオラレトオカ絨人屋ニシカ先ツ其ノ才達ニ會

フ。トウクイ言シ余ニ直ニオ會ヒシト思ヒテカラヌ。ツイ

其ノ秋ニ遊馬マレナイテ遺骸ニ思ヒテオレ。若し今日余ニ

告ケタイ事加有ラズ。書ニ間ヲ以テ送リ下サレハ幸甚ト

思フ。日暮思無送ニ表狄ハ最下ノ憾亡シタ。余ガ厚才不

飛航行向ニ降りタト。横濱ハ歸ト化シテオタ。聞キハ

横濱ハ九割破壊サレ東京ハ七割五分ノ破壊サレトノ下

テ。夕天罰ノ鉄砲ニ且チ年々ニタマフアリ。思ハルニ三年

月ノ運ヲ表狄ニ虐殺サレテ男女志士ノ靈ヲ惹ラ感メテ

開

六十年イ、私意、平が復讐を来すカ多事、甚か遺憾デ  
 可、現在朝鮮ニ残ニテキル日本一部日本人、服従ニカラ  
 居由サレテ興シト講テモル、其ハ、保身懼テモアルカ元来日本人  
 悪辣デ狡猾デアルカラ信ヲ置ク海ナニハイカナイ、急ニ再我  
 政府トシテ彼等ニ対シ政策カアルケラウカラ余ハ別ニ吏ニ  
 言及シテイ、今コソ日本ハ敗レ我ニ解放サレシガ同權ヲ  
 恢復セズキズニキルハ所放カソレハ日本ハ過去三十年ニ至リテ  
 我等ノ重難ヲ何モ出来ヌ様ニシ、他方デハ朝鮮人ハ  
 其等ケリテ油断ナシトシ、能力ガ無イト世界向テ悪宣傳  
 天原因テ也、天ハ一ツノ原因ハ朝鮮内訌ノ人違カ  
 持同臨時政府ハ存在スニトテ知ラズ、三ニテ争テ  
 續ケ聯合自治局者トシテ、トノ關係ハ全圖ハ表トシテ  
 相平ニエベキカニ進ニタカラテ、言フ迄又無ク日本ノ降伏  
 批語下且後臨時政府ガ帰國シ人々ヲ收集集政權ヲ

獲得ヲシテ凡ソ譯者解決サレタラウカ 臨時政府  
 カ帰国セズニ聯ト米國ノ分割 自領カシ 多數ノ政黨  
 カ發生源ニテ主義ヲ主張シ固執シ其ノ海外ニ宣傳サレテ  
 朝鮮民族ニシテ (自國) 能力無クト云フ要宣傳ガ裏付ケラレ  
 夕穉ニナリ 近頃ニ國際信託ニテト云フ嚮導サヘテ至ラタ  
 若シ之カ決意セシメラ 其ノ反抗スレトシ至難ナリ 又三ナ  
 年間他國ノ奴隷トナラネバナラヌ 而モ今度ノ多數ノ使主  
 ニ使ヒ廻リサレトス 一時早ク終ル 合同ニテ (ワトナリ)  
 自治自主ノ能力アリテ事ヲ世界ニ宣布スレトシ最モ緊  
 急ナリ 幸ニ米軍政當局ノ我ノ独立ヲ爲ノ友ナリ  
 余カ東京ニ着クニ際シ 韓人ノ大將 韓人ノ自治能力ガ  
 ナイト宣傳サレタカソレハ 嚮導ヲ 韓人ニ自治能力ガアルニトテ  
 能ク知ラテトス

1101



至急心 08.18.30. 08.16.31.

軍冬謀長

二月一日ヨリ開始セル第ニ次軍隊輸送ハ七日ヲ

以テ終了セリ輸送状況左ノ如クナリ

2月 3日 4日 5日 6日 7日 8日 9日 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日

計 一〇六五三

釜山連絡部長

(14)



至

08/12/30

08.16.00

(15)

軍長 謀長

釜山

久電第30號

二月七日乘船者(明有丸)博多向

三六九名、内軍隊 朝鮮軍司令部一八九名

イトラセウキウ班一〇三 京城連絡班一七

京城師團長室才三 補充隊一六九 電信方四聯隊

三九二、一六〇師團 三二四 一六〇師團殘遺部隊

九〇 計一三五四名

(會寧丸)博多向 一般人九〇〇 (機帆船三隻)

博多向 一般人九二五

二、合計 軍隊一三五四名 一般部隊人四六〇名

六、才次軍政輸送は完了せり。  
四、七日邦人滞留一三〇〇名

通事先 京城

水  
普通

受付

八月十四日午後四時分

松本久多謀

京城

森電第一〇号其一

今華政当局ハ日本人カラ没收シ多建物ヤ財産ヲ  
山嚴封シテ韓日政府カ一日モ早ク承認セシム事  
期待シテ耳 余カ韓日国ニルヤ各団体ノ代表カ  
集ワテ討議ヲ重ネテ独立促成中央協議會  
ヲ組織スルヲ快望シ 去ル二日天道教大講  
堂ニテ各国ニ宣布シ文ヲ送ツテ三八度問題ニ一日モ  
早ク解決シ且國際信託ヲ願ハサルヲ  
ヲ聲明シ之ノ宣布シ文ハ各日政府ヲ電報テ

1105

傳達せし世界ノ各大陸ノ原ニ揚棄サレタ  
 然レニ吾等ノ合同問題ヲ巡リテ最モ難点ハ  
 韓人中之過激分子カアルト言フテアツタ。ト云ロガ  
 討議ノ中允中ニ諸政黨 共產黨迄元合入テ  
 指導者存達カ同力ヲ回復スル迄ハ主義堅持  
 ヲ棄テテ統一セシ民族トシテ一ツニナルコトヲ折言  
 ンテ利ハ公ニ帯上テ折言ハ有ツタ 指導者存達ハ  
 愛国心ニ余ハ感謝スル 余カ帰国シテ人民共  
 和国ト言フ名テ政府カ組織サシ余ノ名モ  
 運<sup>2</sup>ネラシテアルコトヲ知ツタガ 元来余ハ韓国内  
 臨時政府ニ服従シ余ハ先生以下政府  
 要人違テ擁護スルコトアルカラ 他方面トハ

70

2)

正式妥協が無<sup>レ</sup>限<sup>ル</sup>ハ他政府ニ關係ヲ持<sup>ツ</sup>  
 二トハ出来又<sup>ニ</sup> 禁田敬デ<sup>モ</sup> 殊ニ各政堂が大  
同團結シテ獨立促成中央協議会ヲ結成  
 セ<sup>リ</sup>ト<sup>モ</sup>六<sup>カ</sup>少<sup>ク</sup>モ凡<sup>ソ</sup>カ<sup>ニ</sup>ワ<sup>ニ</sup>ナ<sup>ラ</sup>セ<sup>シ</sup>ム<sup>コト</sup>ナ<sup>リ</sup>ナ<sup>リ</sup>  
 軍政府トシテ又人民共和國ト言<sup>フ</sup>ク<sup>モ</sup>名<sup>義</sup>ハ  
 許可<sup>シ</sup>タイ<sup>ト</sup>。今<sup>ノ</sup>韓<sup>國</sup>ニ<sup>ハ</sup>軍政府一<sup>ヲ</sup>認<sup>ム</sup>ル<sup>コト</sup>ハ  
 一<sup>テ</sup>ア<sup>ラ</sup>ツ<sup>テ</sup>カ<sup>キ</sup>臨<sup>時</sup>政府<sup>カ</sup>承認<sup>サ</sup>レ<sup>ル</sup>迄<sup>ハ</sup>米<sup>國</sup>  
 軍政府ヲ認<sup>ム</sup>ズ<sup>ル</sup>コト<sup>ハ</sup>得<sup>ズ</sup>タイ<sup>ト</sup>。 段<sup>々</sup>ニ公布<sup>サ</sup>レ<sup>ル</sup>タ  
 様<sup>ニ</sup>。獨立促成中央協議会ハ政府ヲ又<sup>テ</sup>ナ<sup>シ</sup>ケ<sup>ル</sup>ハ  
 政府<sup>ノ</sup>代表<sup>ヲ</sup>又<sup>テ</sup>ナ<sup>シ</sup>タイ<sup>ト</sup>。 唯<sup>モ</sup>臨<sup>時</sup>政府<sup>カ</sup>各<sup>國</sup>  
 承認<sup>ヲ</sup>受<sup>ケ</sup>テ<sup>ハ</sup>國權<sup>ヲ</sup>恢復<sup>ス</sup>ル<sup>コト</sup>迄<sup>ハ</sup>國民<sup>ノ</sup>代表

国民ノ意志ヲ代表スル爲ニ成之レタノデアル、各地方  
 ニ於テモ之ヲ承認サレテ本會ニ参カレサレ中央テ決意  
 サレタコトヲ遵照ササレル様 懇ク請スル、サウスレバ  
 遠カラズシテ良好結果ヲ齎ラスモノト信スル。  
 臨時政府ノ閣僚レデモ<sup>モ</sup>第一<sup>モ</sup>人王九氏以下三人  
 ハ一昨日上海ニ到着シタト云フ電報ヲ手  
 ニ入レタガ十日以内ニ京城ニ歸リ<sup>ル</sup>コトヲ望ム  
 マダ列國ノ承認ヲ以テケテ非公式ニ帰國  
 スルハ遺憾デアルガ、全國が一致團結スレバ  
 國際承認モ今ヲ来ルコトト確信スル、余ハ  
 全國民ノ大勸迎ヲ信ジテ疑ハヌ。

終

普通

交付八百一十四時一分

松本冬之謀

森西電第百號

軍政廠發表

UP通信に依るにワシントンニ於ル米國

自官吏ハ三八度境界線撤廢問題ニ

實際國境ニ交渉ヲ進行中トアリト発表

表シト云レルが境線問題ノヨリナモハ戰

争終結後ハ不自然ト信ズル此ノ境界

線ハ聯合兵冬謀議長會議ヲ決定ス

レテ軍事的性質ノモノヲ朝鮮領分境

京(8) 城

國務省

1109



蔣氏

定之於其政治的考慮ヲ包摂シテ平ルトノ  
 流説ヲ否定シタソシテシテ信記事ト  
 六境線ノ日本側聯合兵占領ニ反抗スル  
 可能性カアル期間ヲ於テ其儘ニシテ  
 ク必要カ有ラトシテ附言シテ可ル  
 蔣介石ハ中國ハ米英玉ソ聯ト朝鮮  
 自主政府尙題ニ関シテ協議スルコトト盟ツ  
 セウラシク程系及全世界平和ニ急ム  
 朝鮮傳子ハ獨立スル處ニアルト云フ  
 シテ通信ハ傳子ハ其ノ居ル  
 具ノニ未ダ

14

日本戦争犯罪者公判 (ニエーテリー) 五日  
放送回報(通信) マカサ司令部 去る五日

戦争犯罪者公判 日時の命令が決定サ  
シテ居ナリカ 二月初旬 席催サレハ豫定ノハス  
特別ナ建物ヲ使用スルノダト発表シテ

メルボン四日放送回報通信

二日日本首相官邸 前ニ住ホツタス

数千

市民ハ飢餓ニ直面スル現狀勢ニ對シテ

亦ハ即時救済手段ヲ講ルベシト又ト叫

ビ各軍運動ヲ起行ナソク

同冬謀トシテ告白

1111

# 指箱

モスコー五日放送同報通信

パリーナレヨ市ハ元ヒトラー冬謀本部

総長カイニルノ訊向全部ヲ発表シタガ

訊向ハ公布降伏ヲ~~...~~コラフクノ報告カラ

取ツクコトガ指定サレシ、カイニルハ一九三八年獨

逸ガ~~...~~戦争ノ準備ガ出来~~...~~居カ~~...~~ワクコトヲ

リニ英國、フランス、ソ連ノ~~...~~後混合ガ成~~...~~シ

サレ~~...~~居タ~~...~~コトハ、ヒトラーガ立ツト云フコトハ

全然不可能~~...~~ア~~...~~ツク~~...~~コトヲ

熟~~...~~ク~~...~~タ~~...~~メ

至急

軍參謀長

13

交付日 十四時十分



若參電第五一九号

清州

二月七日 兼宿七人 員九名

總校 九名

下士官准士官 會 六三名

兵衛 三。九名

計 四〇〇名

普通

受休八時五分

電事 兵部謀長

京城

又電第(二四五号)

休暇軍人及家族、京城出發、綜合

的狀況、如報告ス。(日時、軍人

方才以上、家族、二十以下、家族、合計、順上)

二三日、三九八、二八八、三二〇、一九〇六

別紙、通り、実輸送人員調査表

1114

|     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 二九日 | 二八日 | 二六日 | 二五日 | 二四日 | 二三日 |
| 六六八 | 七一二 | 六三六 | 四六一 | 四六二 | 三九八 |
| 一七〇 | 一九二 | 一七四 | 一一九 | 一三三 | 一一八 |
| 五五九 | 四九五 | 四六八 | 三九九 | 四〇〇 | 三二〇 |
| 二九七 | 三一七 | 二八九 | 二四五 | 二七四 | 一九〇 |
| 三二八 | 三二七 | 二八九 | 二四五 | 二七四 | 一九〇 |



至急

08 07  
04 15  
00 40

08  
09  
30

(5)

軍中参謀長

東京

陸軍電第五四二號

旧右領地海外日本人(日本機周)ト

本国内ノ間ニ於テ郵便物ハ左ノ

制限ノ下ニ聯合國軍最高司令部

ヲ認可セリ 軍事郵便ハ右

範圍内ニ於テ實施スルモノトシテ又

實施ノ細部ニ就テ別ニ指示セリ

1117



- 一、公用通信ハ日本軍及日本国民ノ常ノ因
  - 二、個人通信ハ葉書ニ限リ用件ハ私用
  - 三、商用及ビ財政的通信ヲ禁ズ
  - 四、郵便凡テ平文大阪又福岡
- 聯合司檢閱所ヲ經由ス

副官

至急

受付 八日 九時

6

軍管区参謀長

東京

文船電第三八号

受入準備関係上

外地ヨリ

帰還軍隊ハ 軍ノ員數ノ

ナラズ 固有部隊名ヲ 關係

方面ニ 速報ニ 如ク 取計 度